

平成29年10月台風21号による信濃川洪水の概要 (速報)

ー統計開始以来10月としては最大の洪水ー

台風21号は発達しながらフィリピンの東海上を北上し、10月21日には超大型で非常に強い勢力となり、22日にかけて非常に強い勢力を保ったまま、次第に速度を上げて日本の南を北上しました。

台風21号の接近や前線の影響により新潟県では22日から23日にかけて雨が強まり、上越を中心に大雨となりました。

今回の降雨により、信濃川の小千谷地点では統計開始以来、10月としては最大の洪水となり、「避難判断水位」を超過、魚野川においても小出地点で「避難判断水位」を超過する洪水となりました。

・本資料は平成29年10月27日現在の速報値であり、今後修正される可能性があります。

同時発表記者クラブ

長岡市記者会、長岡地域記者会
十日町記者クラブ、小出郷新聞、
小千谷新聞、越南タイムス、
FMゆきぐに、エフエム魚沼、業界紙

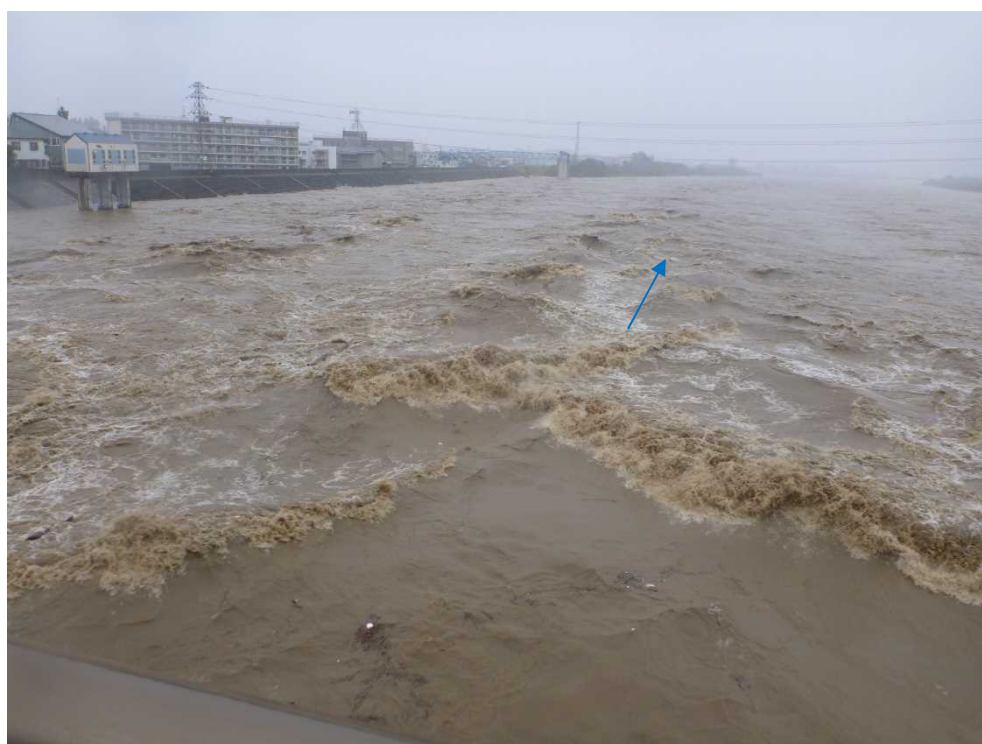
【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
広報担当 専門官 山田 耕治
電話:0258-32-3020(内線216)

出水速報(第1版)
平成29年10月27日現在
国土交通省 信濃川河川事務所

平成29年10月台風21号による信濃川洪水の概要 (速報)

—統計開始以来10月としては最大の洪水—



あさひ

旭橋(小千谷市)下流の信濃川の状況 平成29年10月23日8時頃撮影

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所

※本資料は、平成29年10月27日現在の速報値であり、
今後修正される可能性があります。

1. 気象観測記録

(1) 気象概況

台風21号は発達しながらフィリピンの東海上を北上し、10月21日には超大型で非常に強い勢力となり、22日にかけて非常に強い勢力を保ったまま、次第に速度を上げて日本の南を北上した。台風は22日夜遅くには東海道沖を北北東に進んだ後、23日3時頃に超大型の強い勢力で静岡県御前崎市付近に上陸した。その後、暴風域を伴ったまま東海地方及び関東地方を北東に進み、23日9時には福島県沖に抜け23日15時に北海道の東で温帯低気圧に変わった。

台風21号の接近や前線の影響により新潟県では22日から23日にかけて雨が強まり、上越を中心に大雨となった。

(新潟地方気象台HPより引用)

22日1時から23日24時の総降水量は津南町宮野原観測所で218mm、湯沢町湯沢観測所で205mmなどを観測した。

期間中、新潟県中越地方では大雨警報、洪水警報が各市町に継続して発令された。

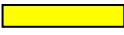
(2) 警報・注意報

＜新潟県中越地方の市町村別警報・注意報発表状況＞

	日付	10月22日				10月23日									10月24日		
	発表時刻	9:35	16:32	18:50	21:25	1:03	5:47	10:22	11:36	14:49	15:53	18:19	20:54	23:18	4:06	10:34	11:58
長岡市	大雨		発表		発表							警報解除			解除		
	洪水			発表	発表									警報解除			解除
小千谷市	大雨		発表		発表							警報解除			解除		
	洪水			発表	発表							警報解除				解除	
十日町市	大雨	発表			発表									警報解除	解除		
	洪水			発表	発表									警報解除	解除		
燕市	大雨		発表		発表							解除					
	洪水			発表				発表		警報解除							解除
魚沼市	大雨		発表		発表							警報解除			解除		
	洪水			発表	発表							警報解除		解除			
南魚沼市	大雨	発表			発表									警報解除	解除		
	洪水			発表	発表							警報解除		解除			
湯沢町	大雨	発表			発表									警報解除	解除		
	洪水			発表	発表							警報解除			解除		
津南町	大雨	発表			発表									警報解除	解除		
	洪水			発表	発表							警報解除			解除		



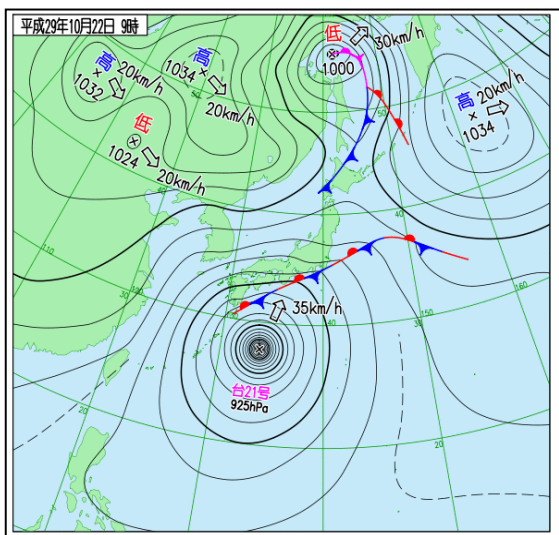
…警 報



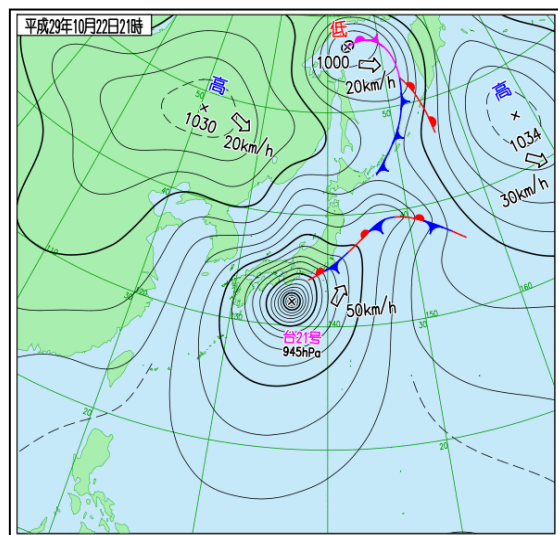
…注意報

(3) 天気図

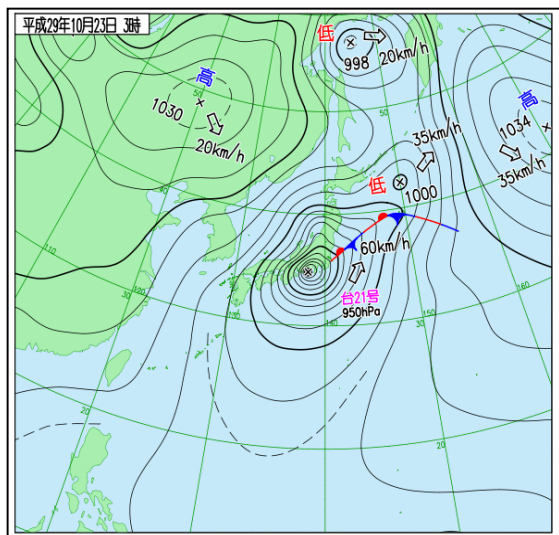
【気象庁HPより】



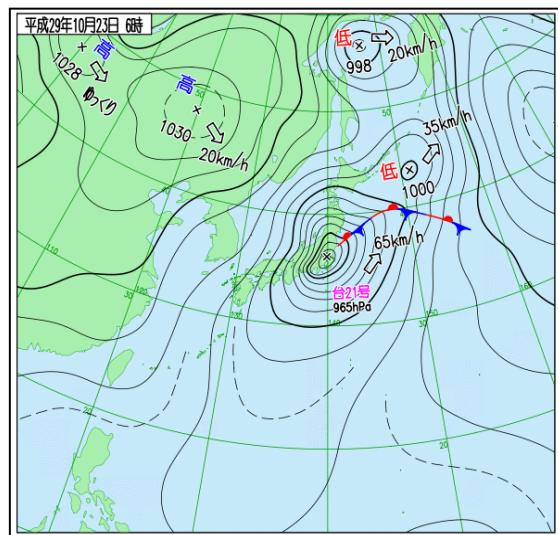
平成29年 10月22日 9時



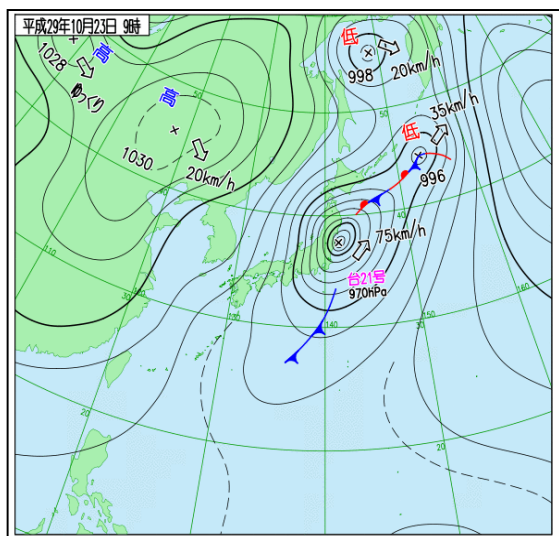
平成29年 10月22日 21時



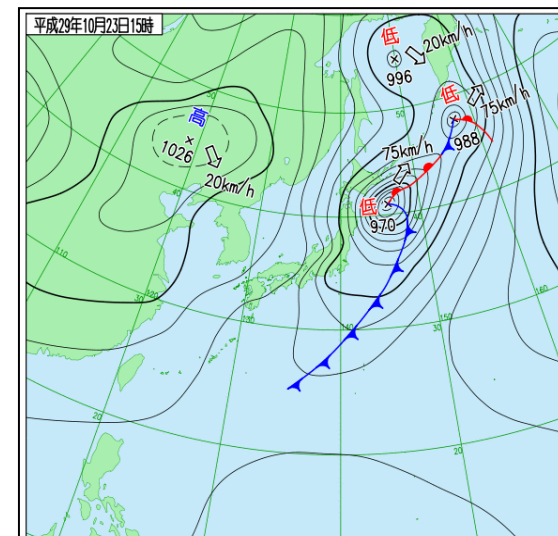
平成29年 10月23日 3時



平成29年 10月23日 6時



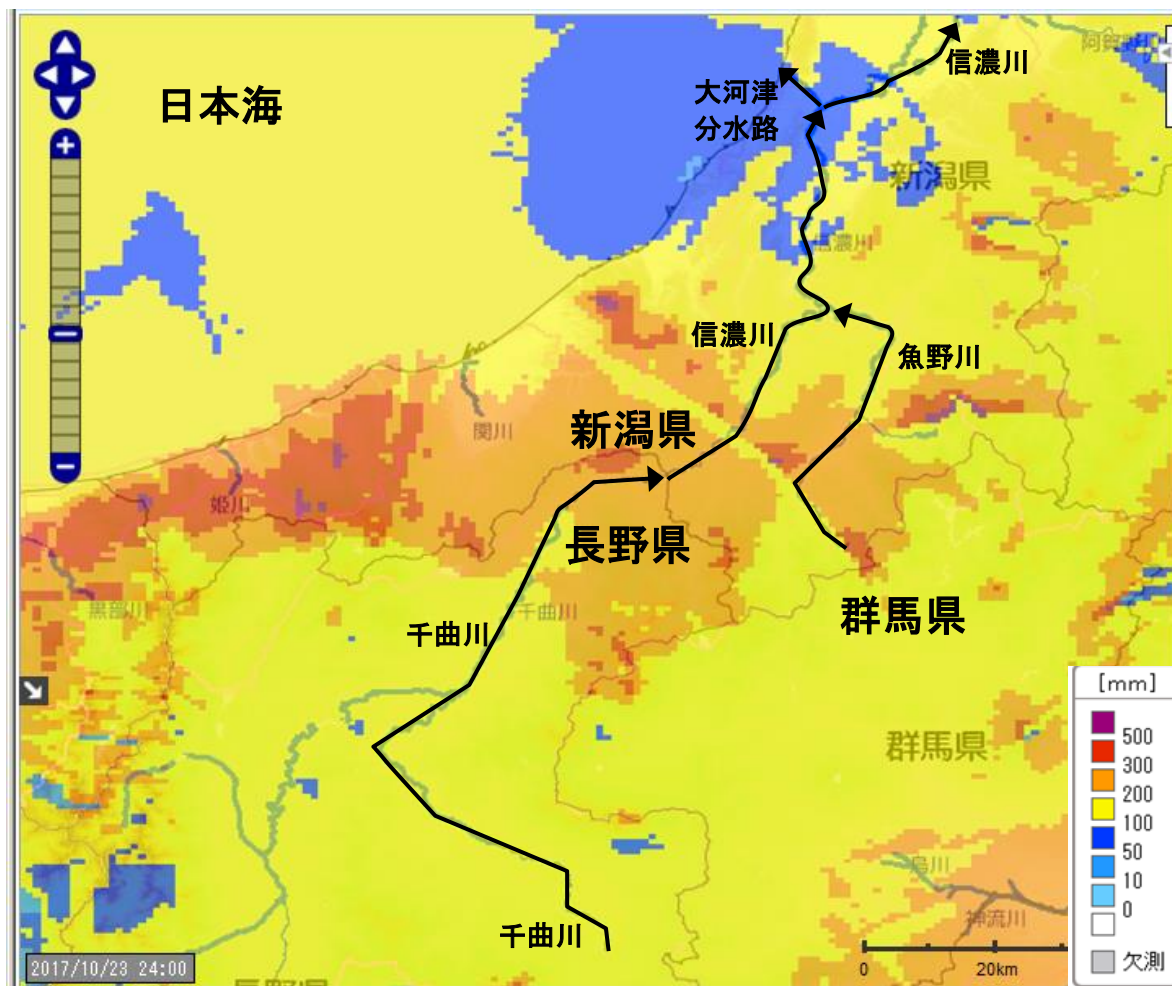
平成29年 10月23日 9時



平成29年 10月23日 15時

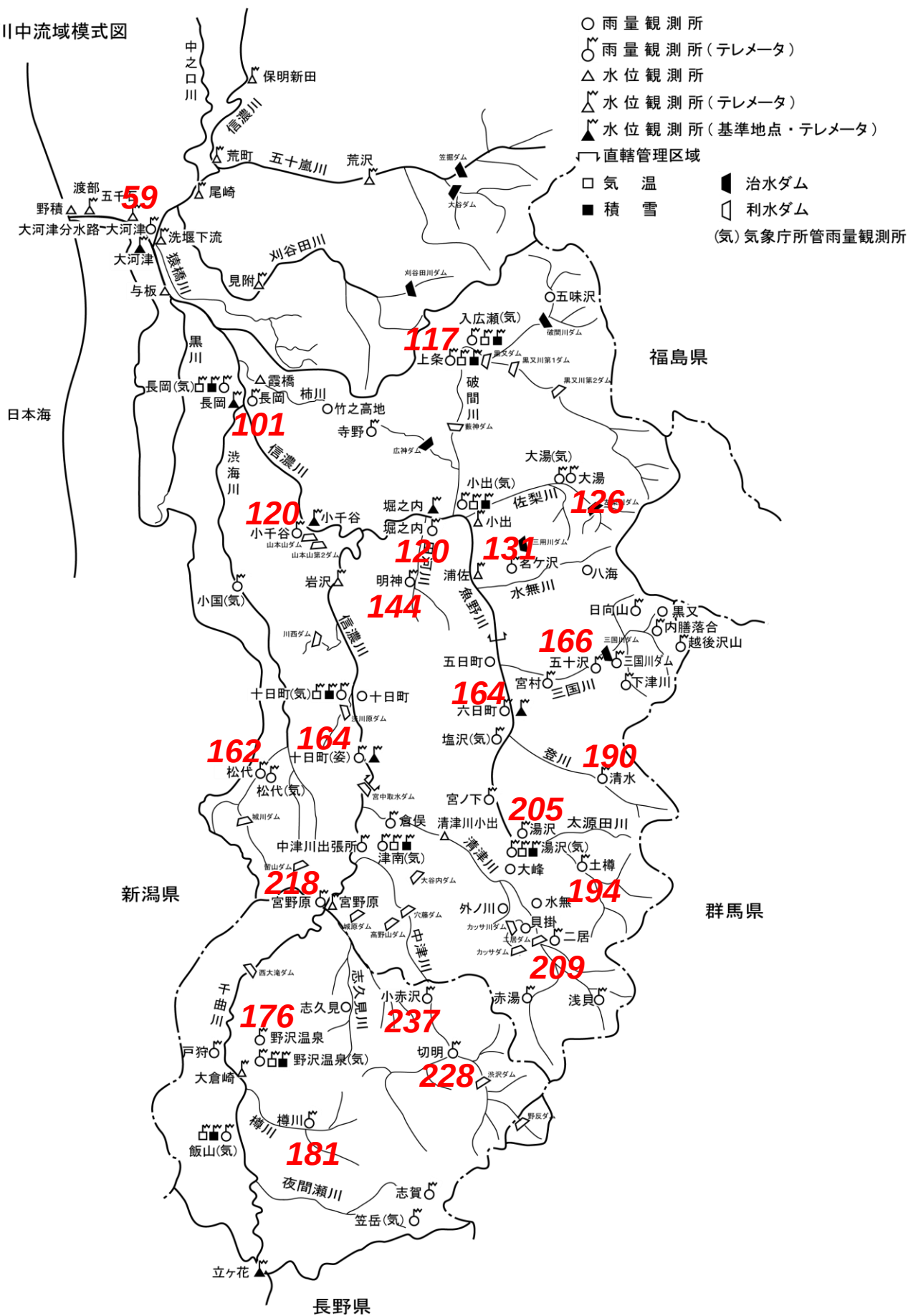
(4) レーダー累加雨量図

10月22日1時から10月23日24時の累加雨量図



信濃川流域では広範囲で累加雨量100mmを越え、新潟長野県境付近では累加雨量200mmを越える降雨となった。(上図の48時間のレーダー累加雨量による。)

凡 例



2.洪水状況

(1)洪水状況

信濃川では、小千谷観測所で最高水位48.63m(23日 9:40)を観測、9:20から11:40まで避難判断水位を超えた。また、大河津、長岡、十日町観測所では氾濫注意水位を超えた。信濃川上流域の広範囲に降雨があったことから、降雨終了後も高い水位を継続し、小千谷観測所では、24日の10:00に氾濫注意水位を下回り、16:20には水防団待機水位を下回った。

魚野川では、小出水位観測所で最高水位91.17m(23日 8:00)を観測、6:10から11:10まで避難判断水位を超えた。また、堀之内、六日町観測所では水防団待機水位を超えた。小出観測所では、23日の18:10に氾濫注意水位を下回り、24日の1:20には水防団待機水位を下回った。

	観測所名	最高水位		基準水位	
信濃川	大河津	14.96 m	10月23日16:10	>	13.40 m 氾濫注意水位
	長岡	22.49 m	10月23日12:20	>	20.00 m 氾濫注意水位
	小千谷	48.63 m	10月23日09:40	>	48.50 m 避難判断水位
	十日町(姿)	143.38 m	10月23日18:30	>	142.50 m 氾濫注意水位
魚野川	堀之内	82.27 m	10月23日08:30	>	81.50 m 水防団待機水位
	小出	91.17 m	10月23日08:00	>	90.80 m 避難判断水位
	六日町	160.15 m	10月23日06:50	>	159.30 m 水防団待機水位

(2)既往洪水との比較

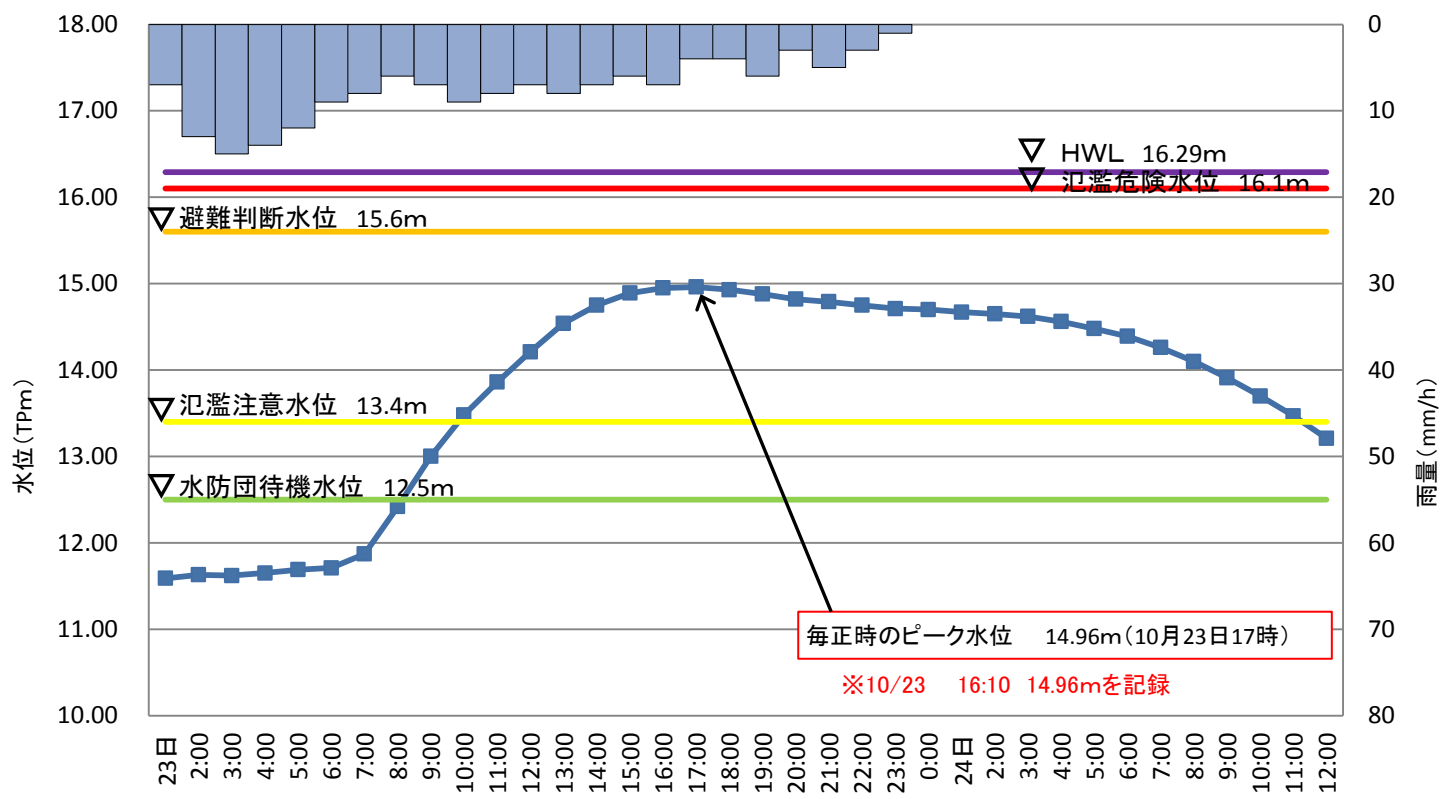
小千谷水位観測所においては1960年(昭和35年)以降の流量において第8位、10月としては第1位の流量を記録した。

順位	流量(m ³ /s) 【毎正時記録】	発生日時
1	9,638	1981年(S56)08月23日12時
2	9,297	1982年(S57)09月13日10時
3	7,869	2011年(H23)07月30日07時
4	7,808	1983年(S58)09月29日13時
5	7,331	2013年(H25)09月16日16時
6	7,198	1985年(S60)07月01日11時
7	6,781	2006年(H18)07月19日24時
8	※ 6,681	2017年(H29)10月23日10時
9	6,433	2004年(H16)10月21日16時
10	6,106	1969年(S44)08月12日06時

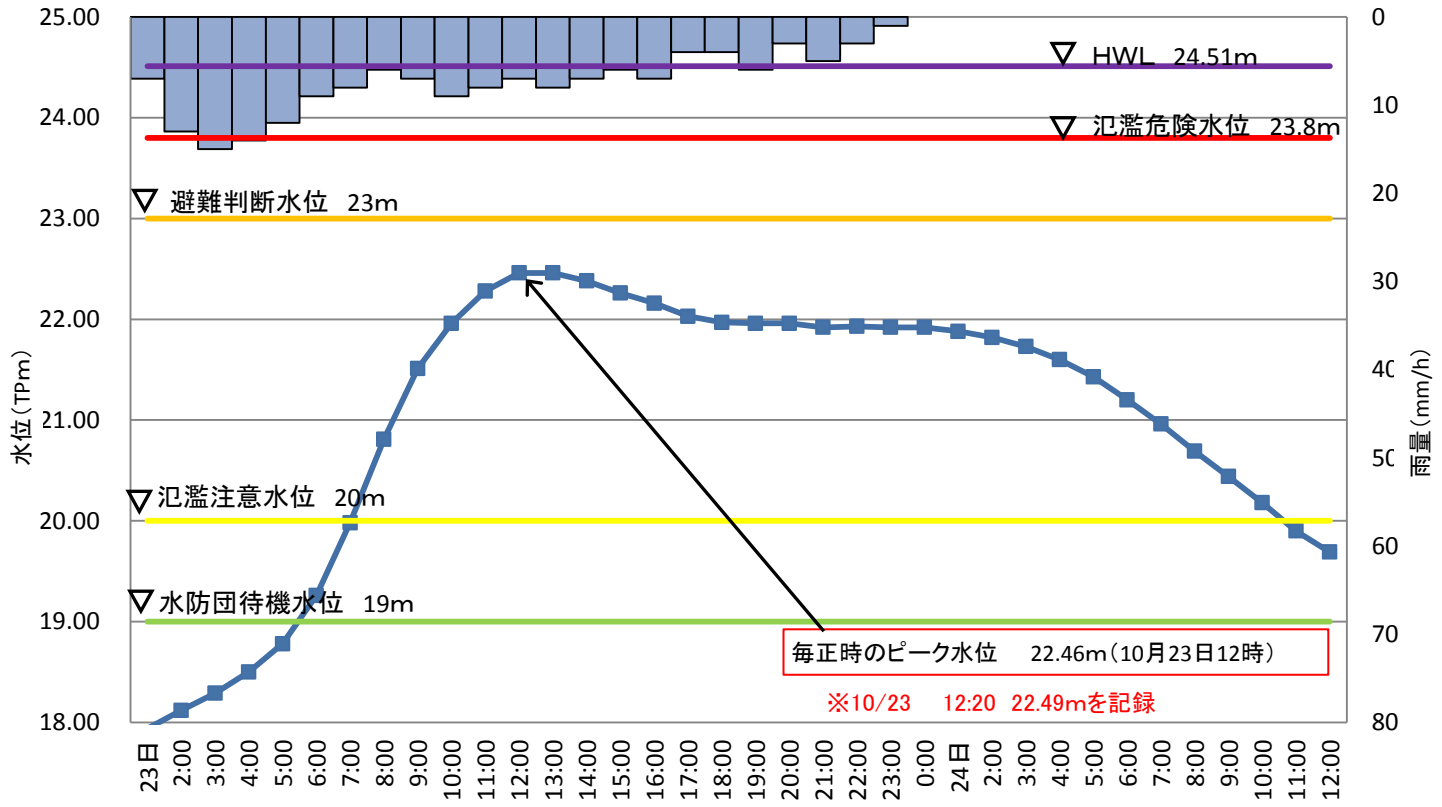
※今回の記録は速報値であり、値が変わることがあります。

(3)雨量・水位グラフ

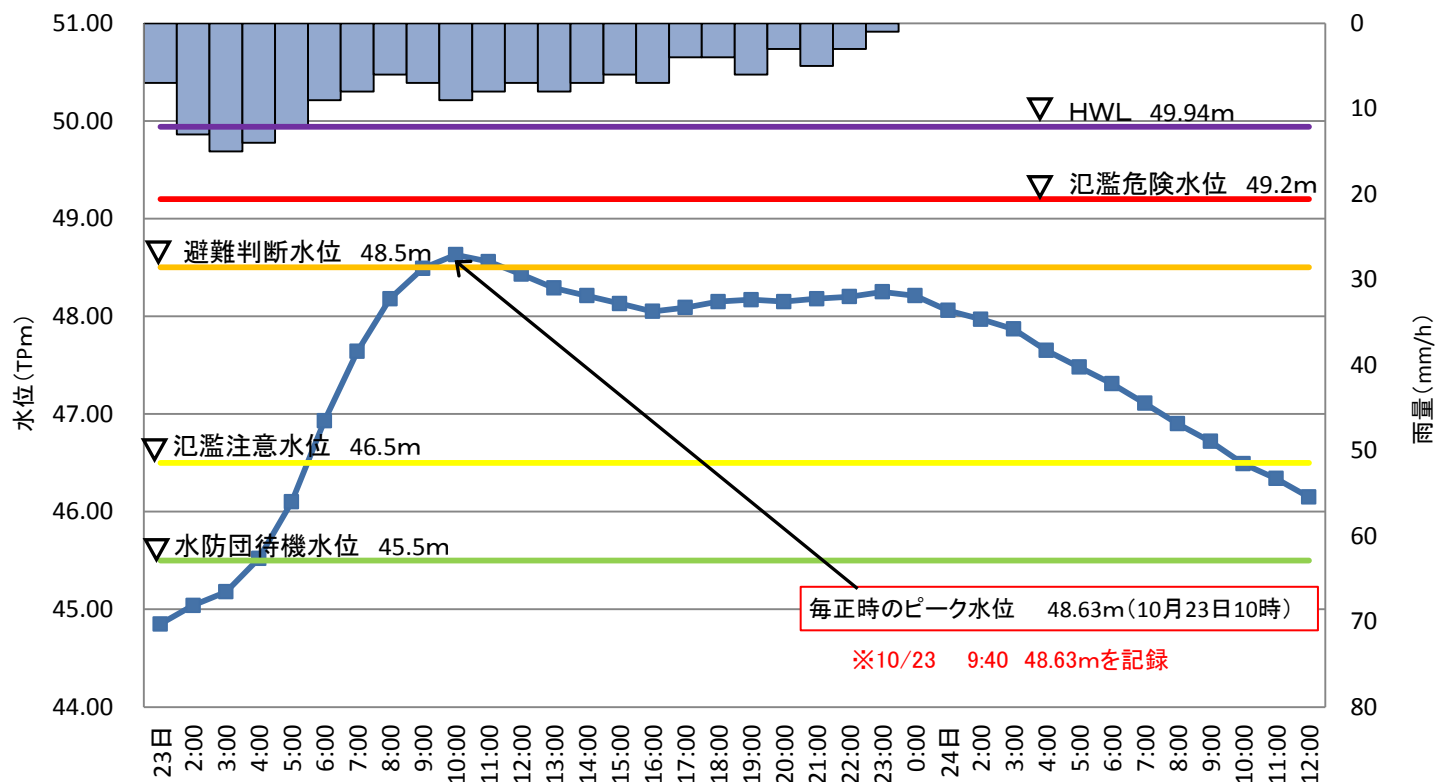
①雨量・水位グラフ(雨量:宮野原観測所 水位:大河津観測所)



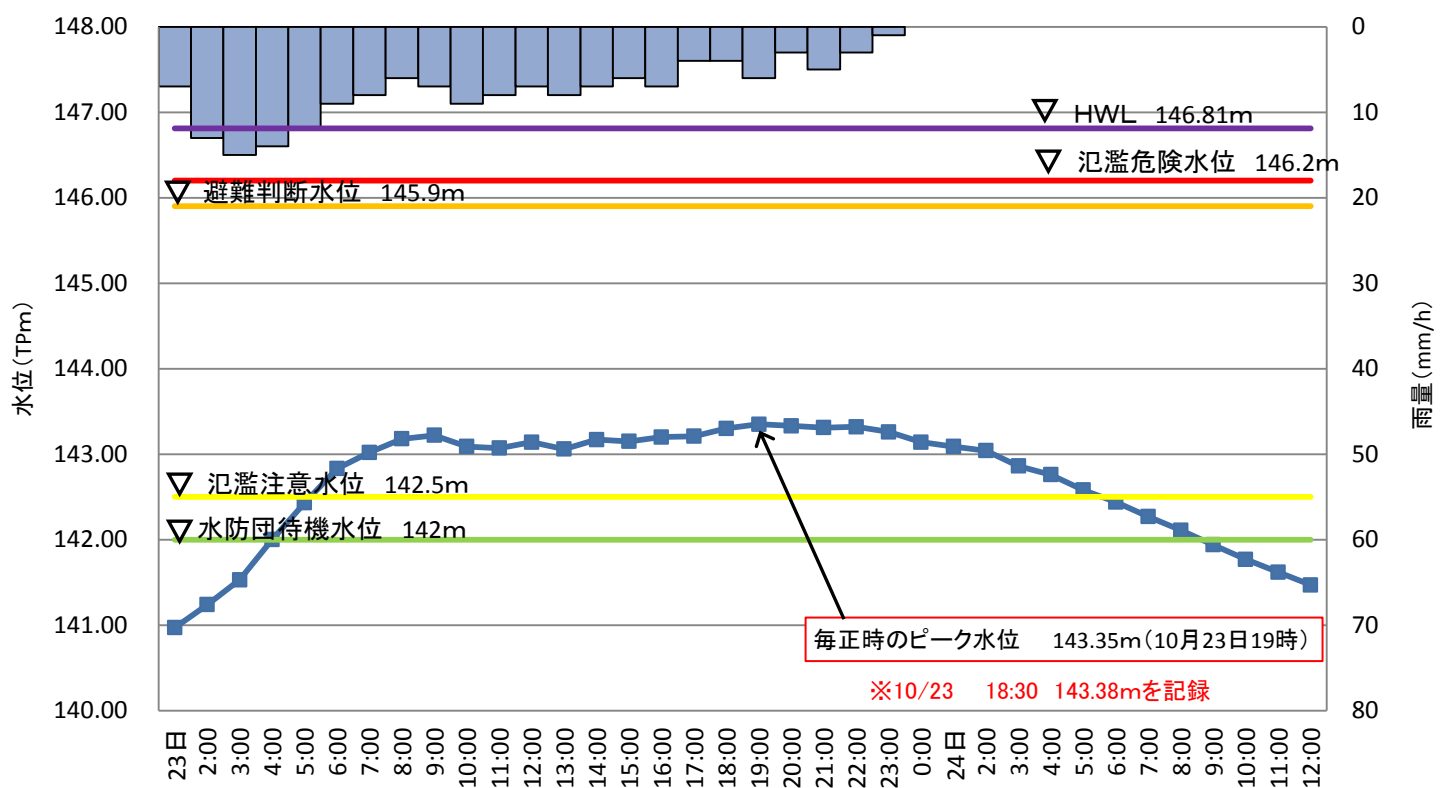
②雨量・水位グラフ(雨量:宮野原観測所 水位:長岡観測所)



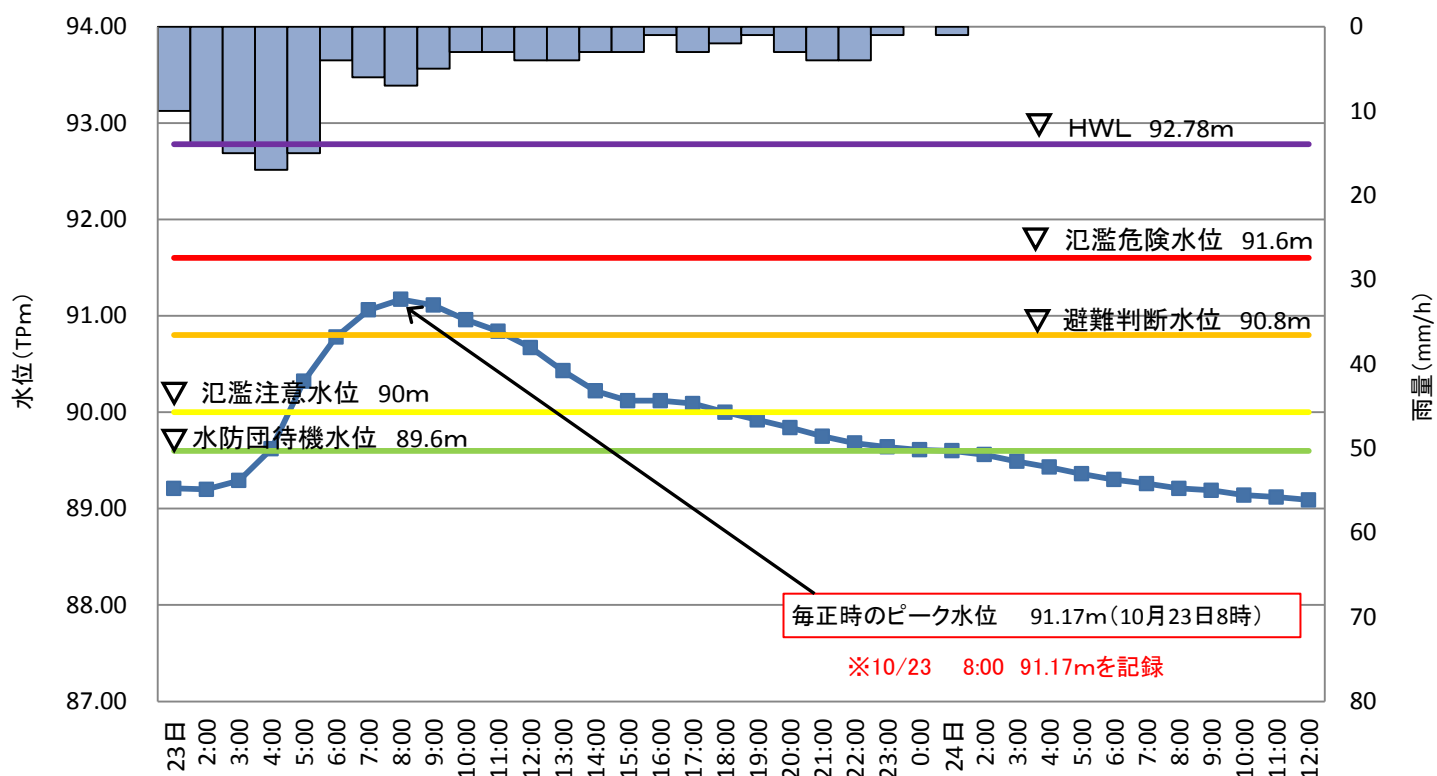
③雨量・水位グラフ(雨量:宮野原観測所 水位:小千谷観測所)



④雨量・水位グラフ(雨量:宮野原観測所 水位:十日町(姿)観測所)



⑤ 雨量・水位グラフ(雨量:湯沢観測所 水位:小出観測所)



信濃川 下流より旭橋を望む
10月23日11時頃



魚野川 小出橋より上流側を望む
10月23日8時頃



大河津分水路 上流より野積橋を望む
10月23日 14時頃



大河津分水路 下流より第二床固めを望む
10月23日 14時頃

3.災害対策車、河川巡視、河川管理施設の被災状況等

(1) 災害対策車の出動状況等

排水ポンプ車3台が出動し、排水活動を行った。



表沢川での排水ポンプ車による排水作業

(2) 河川巡視

洪水による被害状況の有無を確認するため、河川巡視を実施した。



10月24日10時頃
魚野川 福山橋より下流側を望む



10月24日11時頃
大河津分水路 大河津可動堰上流付近

(3) 河川管理施設の被災状況 調査中

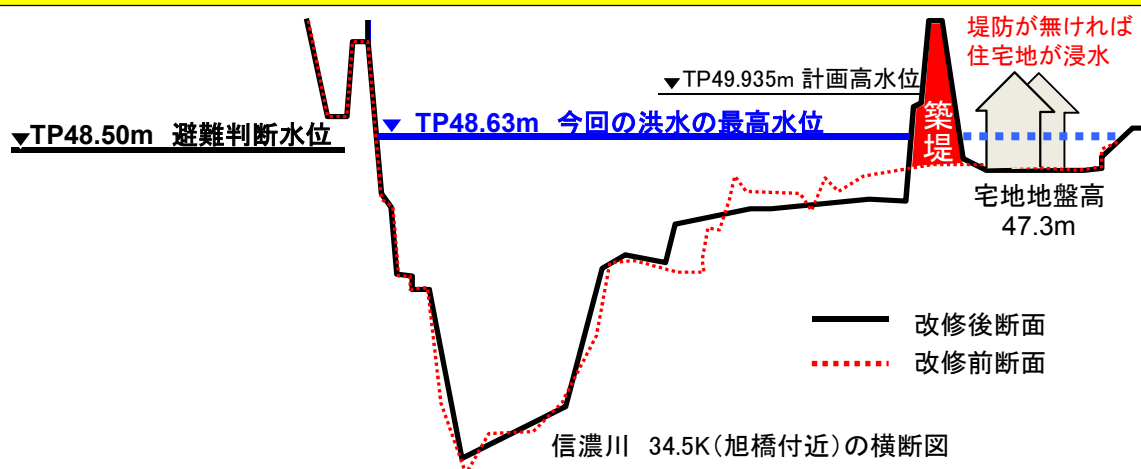
治水事業効果①(東小千谷地区改修事業)

- 台風21号の影響により、宮野原雨量観測所では累加雨量218mm(10月22日1時～10月23日24時)を観測し、小千谷水位観測所(新潟県小千谷市)では、避難判断水位T.P.48.50mを超過しました。
- 信濃川の小千谷市東小千谷地区では、仮に築堤を行っていなければ、小千谷市内では114戸の家屋浸水が発生していたと想定されますが、平成14年から平成21年まで築堤事業を行ったことにより、**小千谷市の住宅地への浸水防止が図られました。**



10月23日11時頃
旭橋付近の様子

築堤の効果(34.5k 旭橋付近)



東小千谷地区 整備状況(H14～H21)及び築堤事業の整備効果



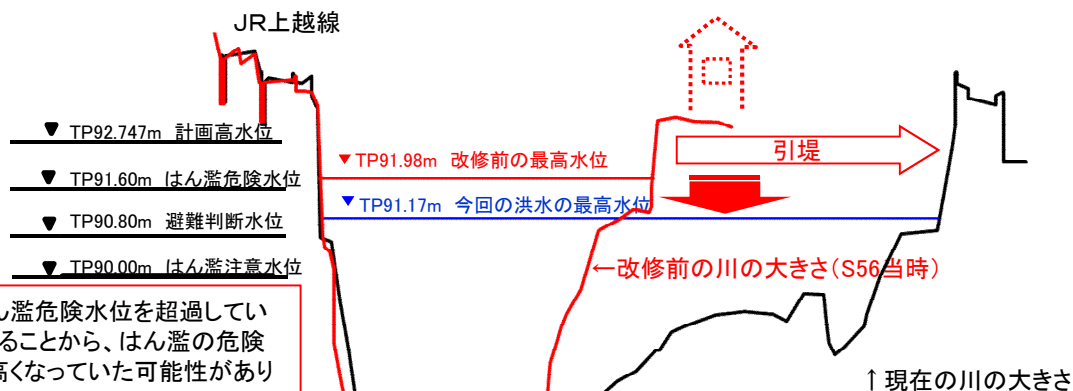
治水事業効果②(小出・西小出地区改修事業)

平成22年までに行った小出地区の引堤及び西小出地区の河道掘削の実施により、今回の魚野川の洪水では小出地点の最高水位を低下させ、魚沼市小出地区の中心市街地における魚野川の氾濫被害の危険性を軽減することができました。

－ 今回の洪水における事業効果－

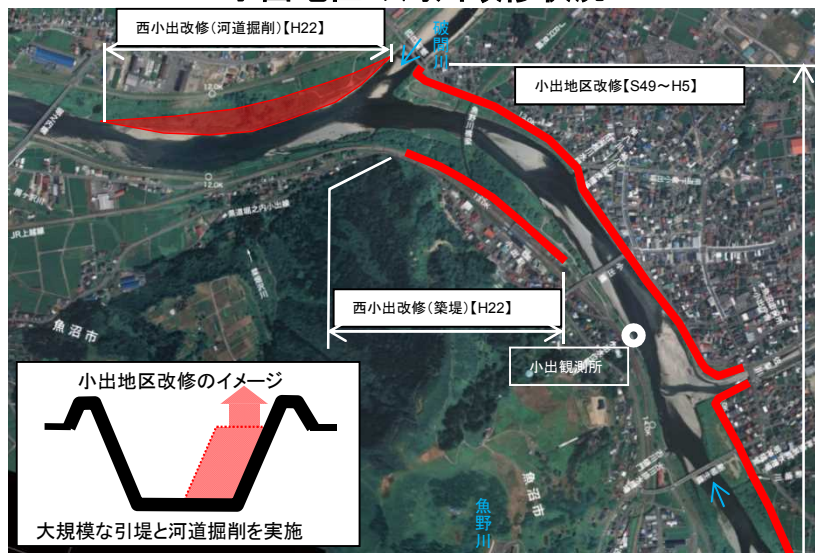
河川の水位【小出水位観測所(信濃川合流点から13.75k)】

引堤、河道掘削及び三国川ダムの整備効果により、整備前よりも大きく(約81cm(計算値))水位低下

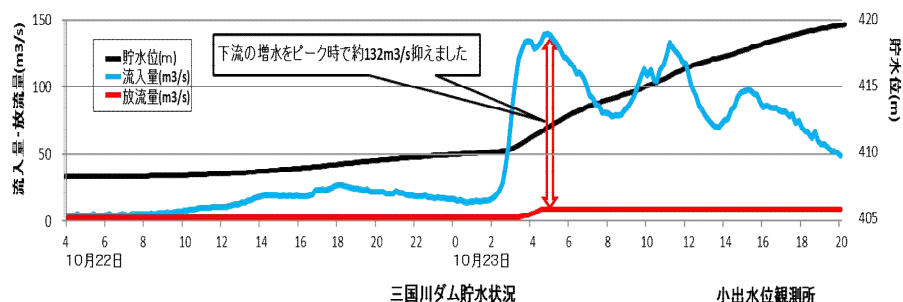


整備前ははん濫危険水位を超過していたと推定されることから、はん濫の危険性が非常に高くなっていた可能性があります。しかし、引堤・河道掘削及び三国川ダムの整備効果により水位が低下したことで、はん濫危険水位を超過することはありませんでした。

－ 小出地区の河川改修状況 －



三国川ダム貯水状況



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。